

階段教室 4 0 2

〈Lyric&Music: 坪内良博〉

Original Key:A, Capo2 playG

| G(7) | G(7) | G(7) | G(7) |

G Em G Em

あの頃僕らはいつも、授業を終えるとすぐに

D C(7) D C(7) G

そこへ向かった、階段教室 4 0 2

G Em G Em

いまにもめげそうなドラムの、ぎこちないビートが聞こえた

D C(7) D C(7) G

ドアを開けると、何かが違って見えた

C7 G

覚えたばかりのダブルアクションは妙にちぐはぐで

D G C G C D

はずしっぱなしのギターも結構笑わせてくれた

C G D G C D

とにかく皆んな口笛吹いて、やってきた

C G Em D D G

ときめきが転がってたよ、階段教室 4 0 2

G Em G Em

いつもは出来ないくらいに、息を切らして昇れば

D C(7) D C(7) G

ほらもう見えてきた、階段教室 4 0 2

G Em G Em

汚れた机に腰掛け、あいつの歌を聞いたら

D C(7) D C(7) G

背中ネジが、グルグル回り始めた

C7 G

無いよりは少しマシな程度のギターアンプも

D G C G C D

時には心を揺さぶるような音が飛んできた

C G D G C D

とにかく皆んな踵鳴らして、やってきた

C G Em D D G

僕らの隠れ家はいつも、階段教室402

| G | C7 | G/F | CF/G | D | C7→A7 | D | C7→A7 |

| C7 | G | (guitar solo)

D G

あれから10年、時は流れたけど

C G D G

大人になれずに頭をかかえてる

まあそんな訳で今夜、僕達がここでライブをするに至った事の起こりは全て10年前の階段教室402にあるわけで、その頃、僕達のアイデンティティを支えていた自己満足的な音楽活動は、対外的には、まったく価値のないものであったのかもしれませんが。それでも僕達は、不器用なくらいひたむきに音楽が好きで、それと同じくらい、毎日バカみたいにそこに集ってくる仲間達が好きでした。ウマイとかヘタとか、新しいとか古いとか、そういうこと以外で、お互いの音楽を受け止められた、そんな仲間達が、僕はとても好きでした。

G Em G Em

あの頃僕らはいつも、授業を終えたとすぐに

D C(7) D C(7) G

そこへ向かった、階段教室402

C7 G7 C7 G7

A h . . . A h . . .

C7 G7 C7 G7

A h . . . A h . . .